

「横浜市文化芸術創造都市施策の基本的な考え方」 市民意見募集の概要及びご意見に対する本市の考え方について

1 概要

9月27日に公表した素案の内容について、パブリックコメント（市民意見募集）を実施しました。

(1) 実施期間 10月1日(月)～11月19日(月)

(2) 内 容 素案に対する自由意見

(3) 周知方法 ①広報よこはま10月号での周知

②横浜市ホームページ上での周知

③素案リーフレットの配布

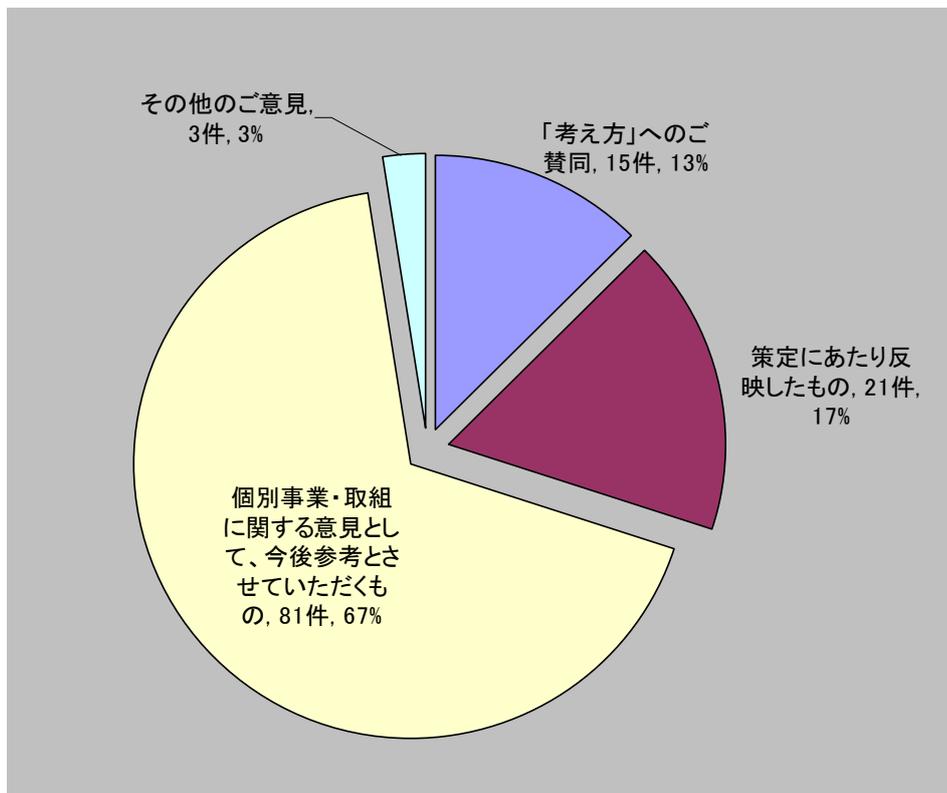
市民情報センター（市庁舎）、各区役所、公会堂、図書館、地区センター、市内文化施設等

2 実施結果

基本方針を中心に58人、120件のご意見をいただき、そのうち「子どもたちの文化芸術体験活動の充実」や「情報発信の強化」などをはじめとする、21件（17%）の意見について、ご意見の趣旨を踏まえ原案に反映しました。

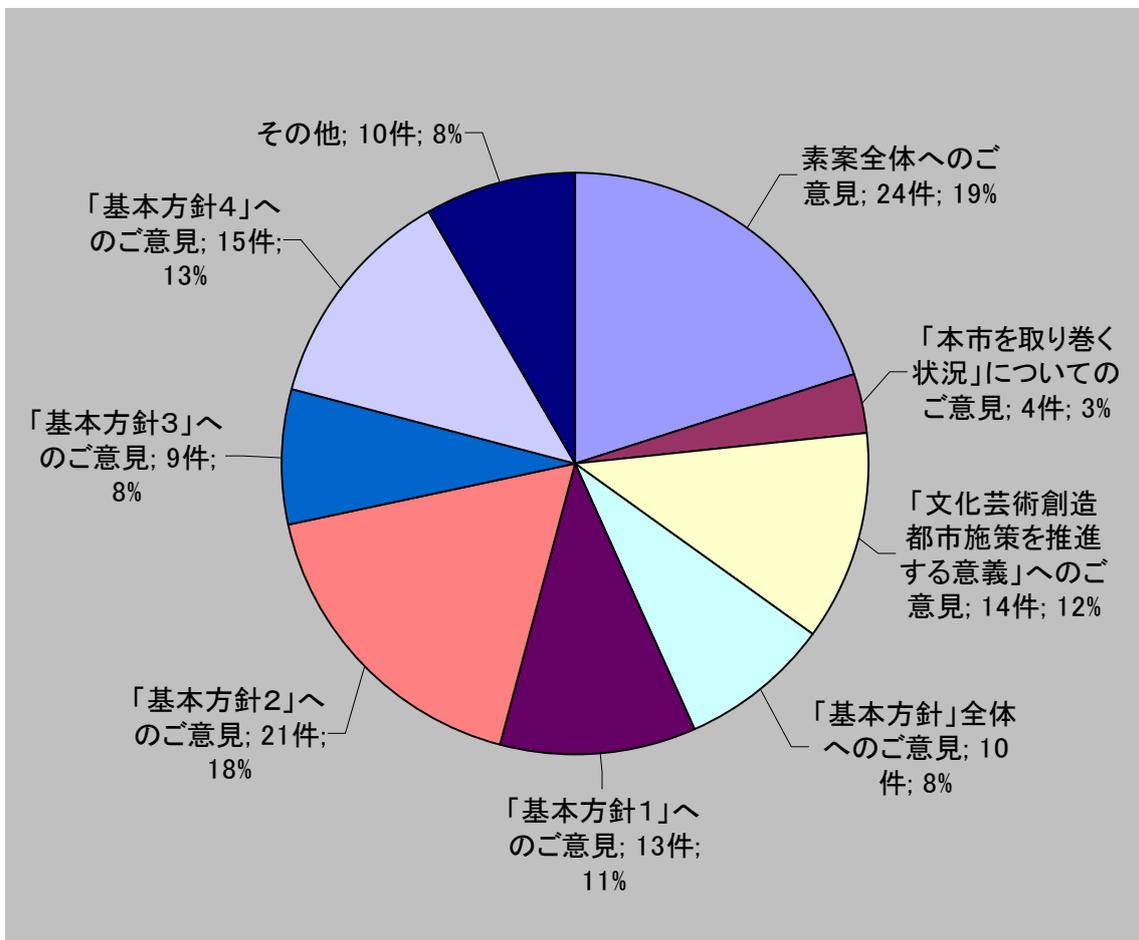
その他のご意見についても、今後の事業や取組の参考とさせていただきます。

■ご意見の反映状況



■ご意見の内訳

今後の施策展開の基礎となる「基本方針」へのご意見が 68 件（57%）を占め、中でも「基本方針 2 子どもたちをはじめとする次世代育成」が最も多く、21 件（18%）のご意見が寄せられました。



■ご意見の内訳（上位 10 項目）

文化芸術活動の拠点機能の充実	15 件	13%
横浜らしさの発揮	9 件	7%
子どもたちの文化芸術体験活動の充実	8 件	7%
地域人材の活用・人材育成	7 件	6%
地域の文化活動の支援・充実	6 件	5%
情報発信の強化	4 件	3%
横浜トリエンナーレの充実	4 件	3%
若手アーティストの育成・支援	4 件	3%
まちづくりの推進・都市基盤の整備	3 件	3%
NPOの支援	2 件	2%

ご意見の概要	ご意見に対する横浜市の回答
「考え方」全体について	
地域の文化活動の支援・充実	
<p>中区を中心とした横浜の顔にあたるには日がさしますがそこからはなれば離れるほどアートとは関係がなくなるように感じます。どの区に住んでいてもアートな生活ができるような、ここも横浜だと感じられるようなこと計画してほしいです。</p> <p>これまでの横浜市の活動で一つだけ言いたいのは、市民、或いは横浜に来る人の素人のアート意欲には全く答えていなかった事である。いわゆるプロのアーティスト偏重で、広く市民、横浜に来る人(多分全国になる)はほとんど無視されて来ている。絶対に改善が必要。千代田区の3331の活動を見習うこと強く進める。</p>	<p>「横浜市文化芸術創造都市施策の基本的な考え方」は、都心臨海部だけではなく市全域における施策展開の基礎となるものです。また、市民の文化芸術活動の支援や、子どもたちや新進アーティストの次世代育成など、この「考え方」をもとに個々の施策に反映し、推進してまいります。</p>
「横浜らしさ」の発揮	
<p>「市民の文化芸術活動を支援する」という視点は、一般的すぎて新しいがない。今までの創造都市の考え方は「プロ」または「プロの卵」を育てることによって、彼らに街の中で創造性を発揮してもらい、地域の人々を創造性の渦に巻き込むこと。文化芸術関係は「作る人、見る人、繋ぐ人」という三つの役割を分担している。「作る人」と「繋ぐ人」を育てることによって、「見る人」を「参加する人」に変えていく。</p>	<p>一人ひとりの市民が様々な文化芸術活動に参加し、生き生きと活動することは、横浜市の文化芸術が発展する源泉となるものと位置づけています。また、基本方針2-(2)において、「新進アーティストの発掘・育成・支援」を位置づけるなど、次世代育成を基本方針の一つの柱として位置づけました。</p>
<p>トリエンナーレと横浜が育てたアーティストを財産として次のステップに進む。横浜は、若い人にチャンスを与え、支援し、育て、芸術的価値を生む街になるための方策を考えるべきです。東京とおなじことをやっても意味がないし、横浜らしくない。</p>	<p>基本方針2-(2)「新進アーティストの発掘・育成・支援」において、積極的な発表の機会を設けることや、横浜での活動が新進アーティストのステップアップにつながる取組を進めることを記述しました。</p>
<p>これまでの「文化芸術振興」と「創造都市施策」について、一体化をどのように促進するのが明らかにされていない。 「文化芸術・創造都市」と中黒が入ることにより、一体感が感じられない。 今回示された内容はどこの都市でも行われている取組みであり、それを踏まえ、横浜市としていかなる施策展開を目指すのか示すべきではないか。</p>	<p>「文化芸術創造都市」と中黒を外し、一体的に進めることをより強調しました。また、本市の目指す施策展開について、この「考え方」を基礎に、文化芸術、創造都市・まちづくり、観光MICEそれぞれの分野について更に連携を深めて一体的に取り組み、一層の相乗効果を発揮していきます。</p>
地域人材活用・人材育成	
<p>経済活動の当事者の役割を終えた年齢層を、静的な立場に置いておく(年金をもらって静かに余生を送る…的な)ことのないような政策が欲しい。もっと学びたい、体験したい、世間に貢献したい、と考えている人は多くいるはず。社会の活性化とともに経済活性化にも大きく寄与するのではと考えます。</p> <p>横浜にあるすべての市民団体(NPO、任意団体、サークル等)や町内会、個人までに参加を呼びかけ、市民円卓会議を開催。多種多様な意見が出たら、共通項や課題を抽出して素案から基本計画へ反映させる。 制作現場の確保と発表場所の確保は、大きな課題です。制作場所の集積は沿岸部だけでなく、内陸部など複数の拠点エリアがあつてよいと思います。 発表場所については、市内のギャラリーやカフェギャラリー、レンタルスペースなどを網羅したアーティスト・クリエイター用ポータルサイトを構築するべきだと思います。</p>	<p>地域には年齢や性別などを問わず、様々な知識、経験等を有する人材が多数暮らしています。そうした方々に地域で活動していただくことで、コミュニティの活性化につながるとともに、様々な地域課題の解決にもつながり、地域の方々の文化芸術活動がより充実したものになると考えています。ご提案の趣旨につきましては、今後の施策・事業等を進める上で参考とさせていただきます。</p>
情報発信の強化	
<p>市内に住んでいても、横浜らしい施設や文化・アーティストなどの財産に触れる機会はなかなかありません。今回の基本的考え方を策定することにより、一層市民にそういった市の財産を知ってもらえるよう、積極的な広報を望みます。</p> <p>今、急速に少子高齢化が進むなか、文化芸術の振興は大変意義あることと思います。将来を担う子どもたちの豊かな感性を育むために、文化芸術に親しむことは欠かせません。また、お年寄りにとっても生きがいの一つにもなりうるし、地域の活性化に役立つと思います。施設の利用方法や公演内容、サークルなど様々な情報にわかりやすくアクセスできるとよいと思います。</p>	<p>ご意見の趣旨を踏まえ、基本方針1-(3)「市民・NPO・アーティストが行う文化芸術活動の支援」の中で、地域の文化芸術活動に関する様々な情報発信機能を強化することを明記し、取り組んでいくこととしました。</p>

まちづくりの推進、都市基盤の整備	
<p>横浜市が文化芸術を機軸にしたまちづくりを推進されることを期待します。</p> <p>様々な政策が行き詰まりを見せる中で、創造性こそが未来を切り開くと思います。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、この「考え方」に対する期待と受け止め、この「考え方」を基礎として、文化芸術創造都市施策によるまちづくりを推進してまいります。</p>
次世代育成	
<p>内容にはおおむね賛同しますし、こういった目標をたて、それを目指して文化芸術・創造都市施策を進めることはいいことだと思います。</p> <p>特に、基本方針の「1 市民の文化芸術活動を支援します。」「2 子どもたちをはじめとする次世代育成を進めます。」「3 創造都市横浜の取組を更に加速し、アーティスト・クリエイターの創造的活動を支援します。」までは特にすばらしいと思います。</p> <p>これまでも黄金町などで行っているアーティストを横浜市に根付かせるような活動にもっと力を入れ、そのアーティストと子どもたちが関わり、次世代育成につなげるような事業を進めてほしい。</p>	<p>創造界隈拠点等での新進アーティストの発表の場を積極的に設けるなど、発掘・育成・支援を進めるとともに、子どもたちがプロのアーティストと触れ合う機会を充実することにより、次世代育成を推進します。</p>
創造都市施策の推進	
<p>現在横浜市は、創造都市として、本格的な発展期にさしかかる重要な時期といえる。ここで改めて、市民へ向けて、市の考え方を示すことは意義深い。しかしながら、その素案において示された創造都市の位置付けは、基本方針として掲げた「市民の文化芸術活動の支援」などと同列の、4つの柱のひとつに過ぎず、十分な位置付けとは言い難い。</p>	<p>「創造都市施策(クリエイティブシティ・ヨコハマ)」はこの「考え方」全般にわたる施策であり、これまでそれぞれで進めてきた「文化芸術振興」とあわせ、一体的に取り組んでまいります。</p>
地域の活性化・資源活用	
<p>継続してきた組織を財産と捉え、急激な集客に惑わされない、長い目での取組を基盤として欲しい。</p> <p>また、建築物に関しても赤レンガ再利用のように、善き物はじっくりと作られ、想いが籠り魅力もあると感じるので、資源活用の面から捉えても新たなものを造るだけではなく、既存の歴史的価値を伝え、活用していく、日本の物を大切にしてきた文化も大切にしたい。活性化、発展を考えていただきたいと思います。</p>	<p>旧東海道を始めとした市内の歴史的資源や歴史的建造物など、市全域に存在する様々な優れた資源を活用し、文化芸術創造都市施策を一層推進してまいります。</p>
幅広い視野を	
<p>誤解を恐れずに言えば、横浜市の「文化芸術」の現状は、現代アートというか、高尚な分野に特化しすぎていると感じます。</p> <p>文化芸術は、もっと泥臭いというか、酒を飲みながら楽しめる、あるいは日々気軽に楽しみにいけるといった要素も持たないと広がりには期待できないと思います。</p> <p>「なんでもござれ！」という開港の地ならではのオリジナリティあるコンセプトを持った上で語って欲しい。</p>	<p>3「横浜市が文化芸術創造都市施策を推進する意義」(1)において、<文化芸術がもたらす効用>として、この「考え方」における「文化芸術」を、伝統文化や生活文化などを含む幅広く多様なものと定義しました。</p>
全市的な視野を	
<p>横浜(ヨコハマ)は、「港ヨコハマ」のイメージが強すぎる。水と緑の自然豊かな「丘の街ヨコハマ」(横浜丘の手とも言う)の文化芸術(広義の「まちづくり」)の推進を、きちんと盛り込むべきである。観光MICEにもつながる。多様性があるこそ文化だ。</p>	<p>旧東海道を始めとした市内の歴史的資源や自然など、市全域に存在する様々な優れた資源を活用し、観光MICEにもつながら、文化芸術創造都市施策を推進してまいります。</p>
他都市等との連携	
<p>都市の時代と位置づけることは素晴らしいです。ただ、その時代の舵取りとして、競争意識に加えて地域のスケールメリットを生かして欲しいです。国内外の都市間連携はもちろんのこと、国や神奈川県、県内の市町村などとの広域的な連動は不可欠です。</p> <p>横浜は、羽田からの入り口となる地理を重要視し、鎌倉、箱根への誘導を主導的に行うべきです。</p> <p>横浜市単独ではなく、県下広域で「心」、「食」、「美」、「癒」の4つの要素を満たしていく。これら文化的なリソースは既に創造的産業と呼んで良いもので、これを文化観光産業と位置づけることが大切です。</p> <p>横浜市の自治体が単独で成し遂げるものではなく、周辺自治体との連動があり、共に行うことでより大きな恩恵を共有するものです。</p>	<p>鎌倉の世界遺産登録に向けた取組や、国内外の創造都市との交流など、他都市との連携、協働により魅力を発信しながら一層の誘客を図るとともに、賑わいづくり・観光MICE振興にもつなげてまいります。</p>
現状の整理	
<p>本素案の上位概念(「横浜市中期4か年計画2010～2013」)など、これまでの議論がいかなる形で検証、展開されているのか説明すべき本素案と現在取り組まれている「文化芸術振興」及び「創造都市施策」等との変化、相違、進化についての説明があるべき</p>	<p>1(1)「策定の趣旨」の中で、これまでの取組の変遷を記すとともに、(2)位置付けで、「横浜市基本構想」及び「横浜市中期4か年計画」との関連を図等により記載しました。</p>

今後の進め方	
<p>想定期間、また今後の見直しについても示すべき。</p>	<p>期間を概ね10年とし、1(2)「位置付け」に明記しました。また、個々の事業の予算策定や執行管理を通して、計画・実行・検証・改善(PDCA)サイクルを確立して普段の改善を図ることとし、(3)「基本的な考え方」の展開に向けて」に明記しました。</p>
<p>従来のソフトとハードの施策を融合させた「文化芸術創造都市」という都市ビジョンをどのように継承発展していくのか、まずは新しい都市のビジョンを描き、その上でこの「考え方」を検討する必要があるのではないか。</p>	<p>横浜市基本構想や、中期4か年計画で掲げる目指すべき都市像の実現に向け、文化芸術創造都市に関する今後の施策展開の基本的な考え方をまとめるという趣旨を明記しました。</p>
内容・視点の整理	
<p>展開の視点に「賑わい作り・経済の活性化」を謳うのであれば、多くの市内外の、あるいは国内外の人々が着目し、『横浜に〇〇を楽しみに行こう!』といったムーブメントがおきる具体的なシナリオ(目標像)を打出すべきであり、そこからバックキャストして文化芸術・創造都市のターゲットを示して欲しい。</p> <p>公共が半永久的に延命していく余裕はないはず。成長戦略はいざずれ経済ベースで動いていき、結果的にカネが自治体に落ちていくビジョンが長期にあり、その為の中期的段階で何をしていくかをはっきりさせるべき。 『支援』の方向性について、以上のシナリオをしっかりと議論していただき、段階的な形を示して欲しい。</p> <p>「状況」「意義」「視点」「方針」の繋がり性(展開)をよく見てほしい。この活動の目標設定と活動をどの様に評価されるのか、見えない。</p>	<p>「横浜市基本構想」及び「横浜市中期4か年計画」に掲げている目指すべき都市像の実現に向け、文化芸術創造都市に関する今後の施策展開の基本的な考え方をまとめました。ご提案の趣旨につきましては、今後の施策・事業等を進める上で参考とさせていただきます。</p>
賛同	
<p>東日本大震災が起こり、コミュニティの希薄化が深刻な問題とみなされるようになっただろう。この問題を、文化芸術活動を推進することで、改善、解決していこうとするのは、横浜市の今後のあり方を考えていく上で有用だと思う。</p> <p>文化芸術には心を豊かにする力があると思う。市民の心が豊かになれば、横浜市自体の価値も上昇し、さらなる魅力を手に入れるだろう。</p> <p>また、文化芸術活動の拠点機能を充実させることは、コミュニティの希薄化を改善し、活性化する助けとなる。これから担っていく子どもたちの心を豊かにすることは、今後の横浜市をより魅力ある都市へと方向付けていくことだと考えても良いだろう。</p>	<p>3-(2)「展開の視点」として、「コミュニティの活性化」を位置づけています。いただいたご意見につきましては、この「考え方」に対する期待と受け止め、今後の施策展開を着実に推進していきます。</p>
提案	
<p>創造都市を作るにあたって、どんな人でも排除されることのないよう、バリアフリーを心掛けて欲しい。</p>	<p>ご提案の趣旨につきましては、今後の施策・事業等を進める上で参考とさせていただきます。</p>
I 「本市を取り巻く状況」について	
現状の整理	
<p>5つの項目はすべて憂慮すべき現代の状況であるが、なべて抽象性が高く、「意義」および「基本方針」との関係性が、ややわかりにくい。</p> <p>横浜市が抱えている状況がどのように改善される見込みがあるのか、あるいはこれまでの政策と決定的にどのような違いがあるのかについて「振り返る」作業も必要。</p>	<p>5つの項目については、できるだけ具体的なデータを示せるよう、この「考え方」を策定する上で、参考とさせていただきます。</p>
内容・視点の整理	
<p>本市を取り巻く状況とありますが、本市の表現を他市に置き換えても通用する記述となっている。(日本の状況) この様な状況に於ける横浜市としておかれている状況を記述すべきでは!</p>	<p>本市の人口や財政の状況をデータでお示しするなど、この「考え方」を策定する上で、参考とさせていただきます。</p>
文言の整理	
<p>「本市を取り巻く状況」とありますが、今回の考え方は、単に行政内部の考え方ではなく、市民も含めた横浜市としての考え方として出すものだと思います。「本市」ではなく、「横浜市を取り巻く状況」のようにした方がいいと思います。</p> <p>「本市を取り巻く状況」の中に「コミュニティの希薄化」とあります。横浜に越してきた20年前と比べると活性化の必要性もあるかと思いますが、「希薄化」という表現には少々違和感を覚えました。個々の取組みがセグメント化している点や、全体として不活性に陥っている現状を動的なものに変えていこうという取組みなのだという点は理解できますが、もう少しフィットする言葉があるのかなとの印象を受けました。</p>	<p>ご指摘のとおり、「横浜市を取り巻く状況」としました。</p> <p>内閣府「社会意識に関する世論調査」(平成24年1月)にもあわられている「社会における結びつき」や「家族や親族、地域でのつながり」に関する意識変化などを元に、(5)「コミュニティ～地域の絆の変容」としました。</p>

II 「横浜市が文化芸術・創造都市を推進する意義」について	
「横浜らしさ」の発揮	
<p>横浜の子どもたちは多様な文化、国籍の中で育ってきているが、それが当然過ぎてその事が持つ価値に気づいていないところもある。アートにより、アートを仲介として世界との繋がりを感じ、また常に意識しながらいきることでアイデンティティを形成でき、またそのことに気づかせることができる。</p> <p>文化芸術とは、次の世代・未来を示唆するメッセージに富んでおり、現役の芸術家・学芸員の方の思考・作品の中にそれらが表れてくるものだと思います。</p> <p>世界に向けて開かれた横浜市が「横浜を感じる未来」を世界に向けて打ち出してゆくことは大変有意義であると感じます。</p> <p>国レベルの活動を待つまでもなく、横浜は独自の方法で世界の都市との交流をもち、世界の中の「横浜」を認知して貰うことが、横浜らしい進取の精神の表現であると思います。</p> <p>横浜の中には、しっかりと街のエッセンスが存在してヨコハマを構成している。『みなとみらい地区』は、タイトな時間が流れる未来都市であり、赤レンガ倉庫～山下公園の『みなとむかし地区』はゆったりとした時間が流れ歴史と文化を肌で感じ得るエリアである。</p> <p>創造都市の施策の基本としては、横浜の歴史と文化を土台とした、横浜に息づく人々の自由な活動、表現を受け入れる(取り込む)環境作りであると感じる。</p> <p>新しい文化を生活に日常に取り込める空気が横浜の持つ最大の魅力でありこのアイデンティティを根底に保つことが、施策の基本となるであろう。</p>	<p>3-(2)「展開の視点」ア「横浜らしさ」に、「横浜の持つ歴史と資源を継承・発展させるとともに、多様な資源を活用しながらオリジナリティにあふれる新たな価値を発信することにより、国内外から評価される横浜の個性やブランド力を創造していく」と位置づけました。ご提案の趣旨につきましては、今後の施策・事業等を進める上で参考とさせていただきます。</p>
<p>「開港以来」の歴史、都心臨海部の港の風景等が都市イメージとして強調されている。横浜全域全体で載せ策展開を図るのであれば、開港以前の歴史等を含めた多様な都市イメージを想定すべきではないか。</p>	<p>3(2)「展開の視点」ア「横浜らしさ」で、初めに開港以前から横浜が有する、歴史や伝統文化、郊外部の自然等の優れた資源について記載することで、開港以降の歴史だけではない、多様な都市イメージを想定しました。</p>
他都市等との連携	
<p>「横浜らしさ」を地理的・歴史的に探求することによって、国内および国外における対外的なポジションを明らかにすることは重要。</p> <p>コミュニケーション手段の技術的変化であるため、これまでのように「地縁を深める」と謳うだけではあまりに不十分である。</p> <p>第三の「賑わいづくり／経済の活性化」についても、横浜市が中心となって、独り立ちが難しい地方の公共団体との連携を視野に入れるべき。</p>	<p>国内外の創造都市との交流など、他都市との連携、協働により魅力を発信しながら一層の誘客を図るとともに、賑わいづくり・観光MICE振興にもつなげてまいります。</p>
内容・視点の整理	
<p>何を基準として「優れた文化芸術」としているのか明確にされたい。</p>	<p>ここで言う「優れた文化芸術」とは、限られたものをさす言葉ではなく、「人々に感動を与え、多くの人を引き付ける」と定義しております。</p>
<p>経済活性化施策としての「文化芸術創造都市づくり」と「文化芸術創造都市づくり」の結果としての経済活性化とは、事業手法が異なるものになる。今回の論点からすれば「文化芸術創造都市づくり」を推進することにより経済活性化につなげるのではないか。</p>	<p>ご意見を踏まえ、経済の活性化や都市の賑わいを「文化芸術創造都市づくり」による成果の一つとして、この「考え方」全体に反映しました。</p>
<p>文化芸術の振興を創造都市づくり、経済の活性化に結びつけることは結構なことであるが、あまりにこればかりを目的化すべきではないと思う。</p>	
<p>～素案の意義が狙いとするならば、狙いをより明確にして、以下の「展開の視点」「基本方針」へと展開されると、分かりやすい様に思います。</p> <p>～それと、ちょっと考えてほしいこと。</p> <p>-「文化芸術」vs「文化・芸術」 文化芸術とした意味合いは？！ 文化には芸術も含まれるのでは？！ -「選ばれる都市」とは何をもって、具体的な判断材料は何ですか？</p>	<p>「文化芸術創造都市施策を推進する意義」について、より記述を深めるとともに、文化芸術の定義を伝統文化や生活文化などを含む、幅広く多様なものと定義しました。また、鑑賞等を目的として横浜を訪れる方の増加や、転入増などが「選ばれる都市」の指標の一つであると考えています。</p>
賛同	
<p>「意義」として、「文化芸術は、教育、福祉、まちづくり、観光MICE、産業等、幅広い分野との関連性が意識されてきて」との記述は、全国の文化行政の牽引役でもある横浜市の認識として、妥当で適切な認識であると考えます。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、この「考え方」に対する期待として受け止め、今後の施策・事業を着実に推進していきます。</p>

II 「展開の視点」について		
文化芸術活動の拠点機能の充実		
<p>下記を追加していただきたい</p> <p>○横浜らしさ 横浜市は独自のプロジェクト(6大事業)を作成し、実行した我が国初の都市であること。その成果を観光資源にする創造都市施策、を協働地域して展開すること。</p> <p>○老人子どもが自家用車に頼らず公共交通施設を使って集まれる場所での文化活動の展開。 市営地下鉄を軸とした公共交通施設のネットワークを活かした文化活動は、全市民にとって参加しやすいだけでなく、全国に分散している仲間を呼び寄せる上でも有効であること。</p>		<p>ご提案の趣旨につきましては、今後の施策・事業等を進める上で参考とさせていただきます。</p>
「横浜らしさ」の発揮		
<p>突出した作品やアーティストの輩出を行うことは大切で「横浜らしさ」といった言葉ではあまりに弱い。 子供の文化芸術に接する機会、自ら行う体験に重点化することに賛成。 一体いくら予算を使ってこれを実行していくのかとってしまう。もっと重点化することを絞った方が横浜らしくて良いと思う。</p>	<p>「視点」は、この活動の目標として「横浜らしさ」「コミュニティの活性化」「賑わいづくり/経済の活性化」を挙げられたのでしょうか。 分かりやすく書いてほしい。(説明的なことは省くことも...) 「横浜らしさ」とは何かを、具体的に表現できるとよいのですが...(横浜の「特性/性質」の明確化！)</p>	<p>3-(2)「展開の視点」「ア 横浜らしさ」に、「横浜の持つ歴史と資源を継承・発展させるとともに、多様な資源を活用しながらオリジナリティにあふれる新たな価値を発信することにより、国内外から評価される横浜の個性やブランド力を創造していく」と位置づけました。ご提案の趣旨につきましては、今後の施策や事業を展開する上での参考とさせていただきます。</p>
<p>この「素案」ではまだ「横浜らしい・横浜ならでは」の具体、ビジョンが見えてきません。 どうすれば横浜らしい、オリジナルのものが作れるのか、簡単ではないと思いますが、ぜひ今回集めた意見を活かして、今後の横浜の文化を作る基礎を固めていただきたいと思います。</p>		
III 「基本方針」について		
基本方針全体について		
文化芸術活動の拠点機能の充実		
<p>今回まとめられた文化政策についての案は、すばらしく感激しました。 その基本姿勢が実行されるに当たり、下記を提案します。</p> <p>①横浜市の4つの方面ごとに文化拠点を！ 自分達の住むまちの自然や歴史資源、知的財産を大切にす為には、せめて4方面ごとに文化拠点を置き、市民・行政・企業などの協働で、拠点の運営をできるようにしたい。 その拠点ごとに、競って特色のある文化活動を発信することにより、厚みのある横浜を内外に示すことになるでしょう。</p> <p>②北部の拠点として、センター北駅そばの文化施設予定用地に実現を！ 北部方面は、文化活動が活発で発表の場(ホールなど)が早急に必要とされています。</p> <p>また図書館機能も、情報交換やITや映像なども利用できる新しい形が求められています。 「基本方針4つ」を含んだ複合的な施設作りを、横浜の誇りを持って実験的取り組みで実現することを期待します。</p>		<p>ご提案の趣旨につきましては、基本方針1(1)「市民の文化芸術活動の拠点機能の充実」を進める中で、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>市内に多くの優秀な芸術家を抱える横浜市がその活動を支えてゆくことを希望しています。 横浜が育てた芸術家が増えて行くことを楽しみにしております。 このような方の作品発表の場を横浜市が応援して下さることを願っています。</p>		<p>ご提案の趣旨につきましては、基本方針2(2)「新進アーティストの発掘・育成・支援」を進める中で、今後の参考とさせていただきます。</p>

地域の文化活動の支援・充実

基本方針の1. 2. については横浜市全体の地域や市民に向けたものとして当然のものと思います。ただ芸術文化と地域活性化がそれほど簡単に結びつけられるとは思いません。現在の様々な芸術がどのように関わることでコミュニティの活性化になるか、子どもの教育や次世代の地域のあり方を変える力になるのか難しい問題です。
 もっと時間と余裕をもって地域のありかた、横浜のあり方を模索すべきだと思います。その意味では施策にある文化芸術と都市づくりの結びつけられ方は、もっと議論が必要であると感じるのです。

ご提案の趣旨につきましては、各基本方針を元に施策、事業を進める上で、今後の参考とさせていただきます。

基本方針3. 4. は主に専門施設、港地区の創造界隈の活性化、賑わいづくり、観光都市づくりの話だと思います。そのことがイコール横浜市の魅力づくりでしょうか。
 施策の始めにあった、横浜市を取り巻く状況の問題意識は全ての世界の都市に言えています。
 もっと経済的でバランスの取れた市民生活と身じかで落ちついた地域文化を育てる必要があると考えます。

内容・視点の整理

アマチュアの活動とプロの活動の境界線が不明瞭。
 たとえば、文化芸術を支える人材の育成(2-3)をして、安定的な雇用が確保されていなければ、補助金としてアーティスト・クリエーターを支援したところで(3-1、3)、構造的な問題が解決される見込みが少ない。
 必要なのは、市民同士が関わり合い、議論しあい、何かを行動に移すということである。

ご提案の趣旨につきましては、各基本方針を元に施策、事業を進める上で、今後の参考とさせていただきます。

本素案の主体はあくまで行政と推察されるが、基本方針では内容の重複や考え方、事業とレベル等が異なるものが混在し、実施の主体も不明瞭。この基本方針においては、行政が主体となって行う考え方を記載すべきではないか。

市民の皆様をはじめ、地域、NPOや団体、民間企業、学校等との連携・協働により、3つの視点を重視して取組を展開してまいります。

基本方針に示されている内容は、それぞれで完結するものではなく、相互に関係していくことにより発展していくものとする。関係性がわかるような記載につとめるべきではないか。
 基本方針等に振られている数字については、横浜市としての優先順位とみなされるので、その考え方を示すべきではないか。

ご指摘のとおり、それぞれの基本方針は優先順位を設けるものではないことから、4「基本理念及び基本方針」の冒頭に、それぞれの基本方針が相互に連携しながら、施策展開の基礎になる事を図により示しました。

基本方針「4項目」の設定について、「視点」の項目(3or4)に対応した方針設定(展開)の方が分かりやすく、展開しやすいのではないのでしょうか！

「展開の視点」は基本方針1~4のそれぞれを進めていく上で共通する視点として整理をさせていただきました。

今後の進め方

本市を取り巻く状況から、文化芸術・創造都市施策を推進する意義へ展開され、基本方針を打ち出す流れについてはとてもまとまりがあるものと思われました。
 この素案は、これからの基礎となる「考え方」でありますので、時間について触れるのはより具体的なプロジェクト単位で良いものとも思われますが、期限が記載されている方がこの考え方による推進力・効力も変わってくるものと考えます。
 ある程度明確な帰着点とマイルストーンが明示されていれば、この基本的な考え方を讀んだ市民の方々からの期待度や一体感がより一層高まっていくのではないのでしょうか。

この「考え方」の期間は概ね10年を想定していることを明示しました。また、帰着点やマイルストーンについては、今後、この「考え方」をもとにした具体的な施策事業を進める上で参考とさせていただきます。

提案

1,000円(1,000円~500円)レジャーは、①音楽、文化の振興、②健康、特に老人の、維持、増進、③外出機会の増加、④街の賑わい振興、に寄与するのみならず、地元アーティストの育成等を可能にし、日本一流、世界一流のアーティスト等の横浜における活動を活発にし、横浜の芸術文化を押し上げる効果があると考えられる。
 したがって、1,000円レジャーの振興策を推進すべき。

ご提案の趣旨につきましては、今後の施策・事業等を進める上で参考とさせていただきます。

基本方針1「市民の文化芸術活動を支援し、心豊かな市民生活の実現を目指します」について

文化芸術活動の拠点機能の充実

文化芸術に関しては、東京に比べて横浜は、市民が利用できる施設が少ないように思います。新しい施設の建設は難しいかもしれませんが、市民が活動したいときに気軽に利用できる場所がもっとあると良いと思います。

文化芸術(広義の「まちづくり」)の活動を活性化させるためには、拠点の整備が重要である。文化水準のバロメータである図書館を含めた複合文化・まちづくり拠点を丘の街にも建設すべきである。
幸い、都筑国は港北ニュータウン計画の文化センターの用地があるので、その活用を要望する。

横浜は市民の自主的な文化活動がとても活発です。その活動を発表し、交流、共有する「場」に乏しい。とりわけ北部に求心力のある拠点が少ない。統合により廃校となった学校(用地)やURの遊休地を活用するなどして市民の身近に活動拠点を整備してほしい。

図書館は老若男女だれでもいつでも無料で利用できるきわめて利用率の高い文化施設です。図書館は図書の貸出し、利用を通して文化活動をすすめる市民の支えとなります。また、拠点の「ひろば」として心の豊かさや次世代育成やコミュニティ活性化などの地域課題を支える豊かな文化づくりの支えとなる施設です。

教文センターの廃止により、横浜中心部に文化芸術を振興させる文化センター的存在の施設がなくなることは大きなマイナスではないかと思えます。
横浜南西部に文化芸術的施設がありません。北や中央に偏っている気もします。深谷通信帯の跡地の活用はいかがでしょうか。

今、センター南からセンター北を電車で通過する時、広大な敷地が目にとまります。ここに「カダーレ」のようなコミュニティがもしあれば、人口が膨れ上がり、若い人たちが集まっているこの都筑区で利用する頻度率は大変なものでしょう。

都筑区にある夢スタジオのたっている土地にホールをたててほしいとおもいます。活動しているグループが多いのに、場所がすくないので、早く建ててほしいです。
地域の活性化にもなると思えます。スタジオにかかわっている方たちは永年頑張って活動してこれとおもいます。よろしく。お願いいたします。

市民主催でイベントを開催出来るイベントスペースが欲しいです。できればフリーでレンタルしていただけると幸いです。その際、イベント内容を審査する人、イベントスペースの常駐スタッフも必要になると思えます。スタッフは学生などのアルバイトで募集してみるのはいかがでしょうか？

ご提案の趣旨につきましては、基本方針1(1)「市民の文化芸術活動の拠点機能の充実」を進める中で、今後の参考とさせていただきます。

地域の文化活動の支援・充実

中心部ばかりのイベントでなく、各区の文化イベントの充実を望みます。地域の文化をもっと支援して欲しい。

基本方針1の考え方をもとに、市内全域で文化芸術活動の支援や充実等に取り組んでまいります。

NPO等の支援

バンカート1929や急な坂スタジオ、STスポットなどアートNPOの果たす役割は大きい。彼らの施設が果たすオルタナティブなスペースでの型にはまらない公演や展覧会、創作活動などが新人アーティストと横浜市にとっては大切だと思う。
アートNPOへの支援は事業費の重点配分に加え、スタッフの人件費をしっかり払うことが大切。

ご提案の趣旨につきましては、基本方針1(3)「市民・NPO・アーティストが行う文化芸術活動への支援」を進める中で、今後の参考とさせていただきます。

事業の拡充

「市民の文化芸術活動の拠点機能の充実」に環境整備とあるが、これは地域の文化施設整備を指すのであればもう十分。依然不足している区はあるが、長期修繕や更新計画を考えればもう整備できないはず。箱物整備は自粛し、区民文化センターがない区については、事業費を整備区より厚く手当てした方が今の時代にマッチすると思う。公会堂が立派な区も相当ある。

ご提案の趣旨につきましては、今後の施策・事業等を進める上で参考とさせていただきます。

行政の役割を示す

地域コミュニティの活性化に向けては、区役所、学校等の役割が重要と考えるが、例えば行政内部での役割分担を示す必要があるのではないか。

ご提案の趣旨につきましては、今後の施策・事業等を進める上で参考とさせていただきます。

「考え方」の着実な推進	
<p>「基本方針1」の(2)として、「コミュニティの活性化に向けた文化芸術活動の推進」が挙げられています。埼玉県福祉部障害者福祉推進課が、障害者芸術・文化担当を置いているように、それぞれの市民にとって文化芸術が身近になるような、きめ細かい施策の展開をのぞみます。</p>	<p>ご提案の趣旨につきましては、今後の施策・事業等を進める上で参考とさせていただきます。</p>
内容・視点の整理	
<p>「中間支援機能の充実」が基本方針1のみに位置づけられているが、基本方針全ての取組みに必要な機能と考える。</p>	<p>ご意見のとおり、中間支援機能は全ての取組みに必要な機能であると考えています。この「考え方」では特に市民やNPOへの支援を充実していきたいという思いから、基本方針1に位置づけています。</p>
基本方針2「子どもたちをはじめとする次世代育成を進めます」について	
文化芸術活動の拠点機能の充実	
<p>横浜美術館は、横浜市の規模に比して十分ではない。市内に複数の美術館があれば、子どもたちに自分が見たい展覧会を選んで観に行かせることができる。展覧会を選ばせるところから、既に勉強が始まっていると考える。</p> <p>授業の一環で行きやすい施設を増やすことも必要ではないか。子どもたちの中に横浜が文化に力を入れているという意識が付くことよって、成長したときに自然と横浜は文化的な都市とイメージするようになる。</p>	<p>ご提案の趣旨につきましては、基本方針2(1)「子どもたちの文化芸術体験活動の充実」を進める中で、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>東京都渋谷区の「こどもの城」が予算の都合上、閉館になりました。横浜市は未来を担う子どもたちが集える場所を造って欲しいと願っています。例えば、渋谷区の児童館のような、工作・PC・運動系・図書館が融合した施設が市の中心部にあると良いと思います。子どもが1日中過ごせる場所があると生活が豊かになると思われます。</p>	
子どもたちの文化芸術体験活動の充実	
<p>小学生・中学生が最低でも年に1度、生の芸術を体験あるいは鑑賞する機会を作ってください。</p> <p>その場合、年齢に見合ったもので、小学1・2年向け、3・4年向け、5・6年向け、中学生向けと、発達に沿ったものを選んでください。</p> <p>横浜市内の義務教育年齢の子ども達全てに鑑賞の機会を作ってください。</p>	<p>子どもたちの豊かな感性や創造性を育んでいくことは大変重要であり、横浜が将来にわたって発展していくことにもつながります。基本方針2(1)「子どもたちの文化芸術体験活動の充実」に明記し、いただいたご意見をもとに、今後個々の施策へ反映しながら、芸術体験や鑑賞の機会等を充実してまいります。</p>
<p>子どもたちの文化芸術体験活動、とりわけ生の舞台鑑賞(舞台劇、コンサート、芸能など)さまざまな分野のプロのアーティストの公演は、何より子どもたちの成長に大きな影響を与えます。</p> <p>一緒に感動する体験をすることがやさしい心を育みます。ぜひ機会を増やし充実するような施策を進めてください。</p> <p>子どもと文化にお金をかけてください!</p>	
<p>子どもたちの芸術文化体験活動の充実は大切だと思います。</p>	
<p>「基本方針2」の(1)として、「子どもたちの文化芸術体験活動の充実」が挙げられていることに賛同します。</p> <p>今後の拡充も含めて、横浜市に必要な基本方針だと考えます。</p>	
<p>子供たちが常に文化芸術に触れる機会を作ることとはとても重要で、推進していただきたいと思います。</p> <p>特に小・中学校で毎年・各学年・生徒全員がアート・アーティストとふれあい、新しい価値観を学べるようにして欲しい。</p> <p>それを横浜市の学校教育の特徴として打ち出すことで、子育て世代の流入も見込めるのではないのでしょうか。</p>	
<p>無料のゲストティーチャーの学校への派遣が大切。子どもたちに本物に出会わせること。場所、物、事、人、どれでもいいが、真剣に活動、実践しているアーティスト等と触れ合うこと。</p> <p>アーティスト側も学校のことを理解していることが重要で、自己の表現のみを重視するアーティストだと、逆に学校側にアレルギーを植えつけることにもなる。</p>	
<p>子どもたちの作品の発表の場が少ない。インターナショナルスクールが多く集まっていることも横浜の特徴。外国人学校の生徒の作品の展覧会など、フェスティバルをできると良い。横浜らしい取組にもなる。</p>	
<p>子どもたちがやがて次代の主流になっていく。大人がしっかりと場を作っていく必要がある。</p>	

地域人材活用・人材育成	
<p>次世代育成推進 ⇒提案－黄金町のバザールやまちあるきガイドなど参加した市民サポーターがそこから得た体験・知識を新参の人に伝達していますが、そうしたものは関係者中心になりがちで他方に広まらない上、完全無償活動扱いで雇用までつながっていません。こうした活動は、事務・文芸職から市民学芸員までの人材育成実地研修として大いに活用して欲しい。さらに、参加し易いように無料登録案内窓口を設置も。</p>	<p>ご提案の趣旨につきましては、基本方針2(3)「文化芸術を支える人材の育成・支援」を進める中で、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>人材の育成・支援は教師にも当てはまる。教師がどンドン外に出て行くようになっていくと良い。</p>	
<p>地元の企業と地元のアーティスト・クリエイターや、美術学生をつなげる場所をつくってみてはいかががでしょうか？ 東京のデザイン事務所に頼む必要もなく、学生の場合は良い社会経験になり、企業にとってはきちんとしたデザイン事務所に頼むより安価に済みます。 その際、中間で市か企業がマッチングできるといいですね。</p>	
横浜トリエンナーレの充実	
<p>子供たちへの文化芸術体験活動の充実には賛成。横浜トリエンナーレに市立小学校は全校が必ず1回はいける費用を用意してもらえば、認知度も高まる。将来のユーザーを育てる側面となにより横浜市に住んでいてよかったと思える施策が必要。</p>	<p>基本方針2(1)に「横浜トリエンナーレなどの様々なアートイベントにおいて、積極的に子どもたちを対象とした事業に取組みます。」と明記しました。 ご提案の趣旨につきましては、今後の施策・事業等を進める上で参考とさせていただきます。</p>
<p>私は横浜市内の中学校に通う、中学生です。 私は「横浜トリエンナーレ」が大好きです。2005年に小学生の時に初めて横浜トリエンナーレに行って、とても面白く、毎回開催を楽しみにしています。 去年の横浜トリエンナーレも、いろいろな作品があって、とても楽しめました。いろいろな違う会場で作品の飾り方もいろいろあって、1日では見きれないくらいでした。また、次の横浜トリエンナーレも楽しみにしています。私たち子供も楽しめる作品をたくさん集めてほしいと思います。</p>	
若手アーティストの育成・支援	
<p>若手アーティストがチャンスをつかむ街となって欲しい。</p>	<p>基本方針2(2)「新進アーティストの発掘・育成・支援」を進める中で、今後の参考とさせていただきます。</p>
鑑賞・体験機会の充実	
<p>子ども達に限りませんが、もっと体験型のアートを作ってみてはいかががでしょうか？見て、触れて、体験することは大事だと思います。</p>	<p>ご提案の趣旨につきましては、基本方針2に基づき、ご提案の趣旨につきましては、今後の施策・事業等を進める上で参考とさせていただきます。</p>
次世代育成	
<p>学校教育とのつながりでいえば、芸術文化教育プラットフォームや横浜美術館との関わり、トリエンナーレの教育プログラム等があげられます。 まさに、基本方針2 を強く進めていただきたいと感じます。「厳しい財政状況にあっても」今後増えることはあっても減ることのないようお願いいたします。特に人格形成期の中学生が上記のような体験をした場合、数年を経て“アートの心をもつステキな横浜市民”へと変貌することは大いに期待できます。 次世代育成に関わる場所に力を入れていただき、そこから横浜の魅力が恒久的に続いていく芽が育つよう、推進していただけたらと思います。</p>	<p>ご提案の趣旨につきましては、基本方針2に基づき、今後の施策・事業等を進める上で参考とさせていただきます。</p>
行政の役割を示す	
<p>アーティストの支援で言えば、基本方針1、基本方針2、基本方針3と複数示されているが、その違いが示されていない。 アーティスト支援の取組みに対する行政としての考え方を示す必要があるのではないかと。</p>	<p>ご提案の趣旨につきましては、今後の施策・事業等を進める上で参考とさせていただきます。</p>
提案	
<p>台湾の2005年に文化と国の発展のために、設立された「学学文創志業」を参考にしてみたいかがでしょうか？ ここでは、グラフィックデザインの授業からジュエリーの授業、料理教室と幅広い授業を3000円ぐらいから受けることができます。 講師も現役のプロばかりです。子供や学生から主婦、年配の男性まで様々な方がここで学んでいます。</p>	<p>ご提案の趣旨につきましては、今後の施策・事業等を進める上で参考とさせていただきます。</p>

その他		
1件		—
基本方針3「アーティスト・クリエイターを支援し、創造性を生かしたまちづくりを進めます」について		
地域の文化活動の支援・充実		
都心部での創造界隈づくりに加え、郊外部の遊休地や緑地など郊外の環境でしかできない創作活動の場作り、および活動への支援を行ってほしい。これにより創造都市づくりに厚みをもたせる。発表の場より創作の場を重視、郊外部でも。		ご提案の趣旨につきましては、今後の施策・事業等を進める上で参考とさせていただきます。
情報発信の強化		
創造都市横浜の取組 ⇒提案－活動内容をイベントや、全国版新聞の横浜欄で積極的に紹介してみても？		基本方針3(3)「アーティスト・クリエイターへの支援機能の充実」において、多様なメディアを戦略的に活用し、創造都市の取組を市内外に効果的に情報発信する旨を記載しました。本市の取組みを広く知っていただくため、今後積極的な情報発信を進めてまいります。
若手アーティストの育成・支援		
様々なアーティスト、クリエイターが横浜にどんどん集まってくるような、実質的(仕事になる?)な施策を推し進めて欲しい。 アーティスト・クリエーターとして活躍するなら横浜へ行かなくては、と思わせる魅力を打ち出して欲しい。		基本方針3(2)「創造的産業につながるネットワーク形成」において、企業や団体、起業家などとの協働を推進し、新たな価値やビジネス機会を創り出し、創造的産業の集積に進めるなど、横浜がアーティスト・クリエイターにとってチャンスとなる街となるよう、取り組んでまいります。
若いアーティストにとって最も切実な問題、それは ・制作が続けられる環境づくり 具体的には、人、物、お金が循環していること ・チャンスがあること この2つだと思います。 横浜市にはACYなど、先端的な事業がいくつかあり、これまでも支援体制は整ってきていると思いますが、特に今後は、大都市東京との住み分けについて考えておくべきでは、と考えます。 横浜という場所を若いアーティストの研鑽のための場所と位置づけ、横浜から育った人たちが世界中で活躍し、また横浜に戻ってくることに力を注ぐのが効果的かと考えます。		
まちづくりの推進、都市基盤の整備		
生産した「モノ」を移動させて利ざやを稼ぐ動産を中心とした経済が行き詰まる中、価値ある場所に「ヒト」が移動する不動産型の経済(観光など)の構築を急ぐ必要が有ると思います。 不動産的価値の代表は、歴史的建造物・風光明媚な自然環境・伝統芸能などの無形遺産などの歴史的・文化的インフラストックと言えるでしょう。 都市に蓄積される魅力をもって「外人と外貨」を呼び込み都市間競争に打ち勝つためには「文化的都市インフラ整備」という視点での、文化投資・創造人材の集積が必要だと思います。		ご提案の趣旨につきましては、今後の施策・事業等を進める上で参考とさせていただきます。
創造都市施策の推進		
【寄せられた「シチズンプライドと創造都市構想の今後の展開について」(H23.10)論文より抜粋して記載】 ・横浜市は、多くの市域において、住民らの身近な拠り所となるべきローカル・アイデンティティが成立しにくい傾向にある ・シチズンプライドの構築という文脈から、「創造都市構想」の事業対象の横浜市全域への拡大を提言する ・郷土ゆかりの個人記念館建設の提案 横浜は郷土の固有性が稀薄である。シチズンプライドや固有の文化醸成という観点、そして観光施設の充実という意味からも、個人記念館の現状は正は意味があるものと思われる。 市の中心部ではなく北側～北西部に偏在するニュータウンへ「街の顔」となる斬新な施設の建設を提案する。		ご提案の趣旨につきましては、今後の施策・事業等を進める上で参考とさせていただきます。
全市的な視野を		
アーティスト等への支援の「拡充」ののちに「支援」があるほうが良いと思うので、(1)(2)(3)の順番を入れ替えたほうが良いかと思いましたが、横浜における創造的産業の集積が関内周辺の地域内のみで終わるのではなく、発信源から横浜の他区や近隣他都市、外国諸都市との連携も視野に入れてほしいです。		いただいたご意見を踏まえながら、各項目を組み替えました。方針を元にアーティストの集積、ネットワークの形成を進め、また支援機能を充実してまいります。

内容・視点の整理		
	<p>仮にこの基本方針3が「創造都市施策」全般を示すのであれば、次のとおりになるのではないか。</p> <p>(1)アーティスト等の創造的活動の支援 (2)創造産業を活かしたまちづくり (3)「文化芸術創造都市」の取組の情報発信</p>	<p>創造都市施策については基本方針1～4のそれぞれに関わるもので、基本方針3に限定されたものではありません。そのため基本方針3の表記を分かりやすく修正しました。</p>
提案		
	<p>桜木町のグラフィティの壁を復活させるべきです。ストックホルムの美術館では、街の様子を紹介するコーナーの中で、グラフィティストリートについて紹介をしています。フランスでもグラフィティの通りを観光名所のひとつとして、とある宿がグラフィティツアーを開催していたりします。民家の壁が汚れるより、オープンウォールを作ってアーティストに自由な場所を与えてみてはいかがでしょうか？</p>	<p>ご提案の趣旨につきましては、今後の施策・事業等を進める上で参考とさせていただきます。</p>
基本方針4「賑わいづくり・観光MICE振興にもつながる、横浜らしい先進的な文化芸術を国内外に発信します」について		
文化芸術活動の拠点機能の充実		
	<p>施設の多くが更新期にある。現在は既存施設の改修により魅力アップを図る、ハードの再整備の時期。ソフトとハードが一体となってポテンシャルを発揮していく。</p> <p>”今ここにある”施設を大切に、魅力的なソフトとともに、市内外からのお客様に安全・快適(バリアフリー含む)+楽しく過ごしていただける体制を施設・設備面においても整えていくことは、文化観光局の理念にも合致するものと考えます。</p>	<p>横浜美術館、みなとみらいホール等専門文化施設でのソフトの充実を図り、国内外に発信するとともに、既存の施設がポテンシャルを十分発揮できるよう取組み、また長寿命化の観点から施設機能の維持・保全・更新を計画的に行ってまいります。</p>
	<p>横浜美術館の規模拡大の必要性を感じます。所蔵作品の増加と、多様なエキシビジョンの開催が、将来的に可能になると思います。</p>	
	<p>創造境界の拠点創出における「点」としての整備ではなく、エリア内ビル空室のアーティスト向けリノベーションや公共空間におけるアート常設化など、「面的」な整備について言及してあると良いかと思えます。</p>	<p>基本方針3-(1)に「民間の空きビルや倉庫等のスタジオやアトリエ、ギャラリーなどへの転用を促進する」ことを明記しました。</p>
情報発信の強化		
	<p>国内外へ発信するとのことで、特にどのようにして、どのくらい発信していくのか疑問が残りました。現在横浜市がおかれている状況を鑑みると、対外的とりわけ国外へのプレゼンスを高めていくことが今後重要になってくるものとは私と考えました。</p> <p>そこで、創造都市として「選ばれる都市」になっていくために、ユネスコの創造都市ネットワークに認定されるための取組みを行っていくのはどうでしょうか。</p> <p>国内外の多方面から注目されることで、それらが創造都市作成の上で重要なチェック機構になり、より良いサイクルが生まれてくるものと思われれます。</p>	<p>基本方針4において「国内外から注目されるような質の高い展覧会・公演を開催し、国内外へ発信してまいります。」と明記しました。また、国内外の創造都市との交流を通じて、世界の中での横浜のプレゼンスを高めていくことも、あわせて明記しています。ご提案の趣旨につきましては、今後の施策・事業等を進める上で参考とさせていただきます。</p>
横浜トリエンナーレの充実		
	<p>賑わい造りやMICEにつながる・・・では、「質の高い展覧会・公演の開催」を謳っているが、東京という大マーケット市場に対抗するようなことをしても仕方ない。</p> <p>「横浜トリエンナーレ」をもっと町の中で育てることを行うべきである。「芸術フェスティバルの開催」という曖昧な表現ではなく、きちんと「横浜トリエンナーレを中心として」の文言を素案に入れるべき。</p>	<p>基本方針3(1)「アーティスト・クリエイターの集積の推進」において、「横浜トリエンナーレ」が本市の進めるクリエイティブシティ・ヨコハマのリーディングプロジェクトであることを明記しました。市内のアートNPO等、様々な主体と連携し、まち全体で魅力の発信に取り組んでまいります。</p>
	<p>現状横浜トリエンナーレは都会寄りのため、越後妻有や、瀬戸田ビエンナーレに比べると、日本の昔ながらの文化色が薄くイマイチぱっとしない気がします。</p> <p>イベントのスタッフ統括も横浜色は本当に薄いので、なるべく市民でできるといいですね。</p> <p>イベント内容はキュレーターによってしまうのでしょうか。</p>	<p>ご提案の趣旨につきましては、横浜トリエンナーレの充実に向けて、今後の参考とさせていただきます。</p>
まちづくりの推進、都市基盤の整備		
	<p>今後は観光という視点を明確に打ち出すべきだが、そのためには都市の基盤の魅力づくりを進めていく必要がある。1970年代から続けてきた都市デザインの一層の推進、エコ社会の実現のための自転車対策、横浜の海と港の利用など、都市の基盤に魅力がないと人は来ない。</p>	<p>ご提案の趣旨につきましては、今後の施策・事業等を進める上で参考とさせていただきます。</p>

NPO等の支援	
<p>「創造拠点」を中心に民間やNPOが活動する姿をもう少し鮮明にした方がよい。</p> <p>アジアのアーティストやクリエイターは「BankART」や「黄金町」の活動を良く知っていて、評価している。国際交流を進める上でも、こうした施設の位置づけを明確にして、横浜の特徴を明確に打ち出し、存続発展させるといような表現を盛り込むべき。</p> <p>「不動産」に着目すべきである。関内・関外地域は、相当の空スペースが出ている。横浜市が進めてきた「芸術不動産」事業を始めとして、若い人が横浜に定着できるような政策をもっと進めるべき。</p>	<p>基本方針3(1)「アーティスト・クリエイターの集積の推進」において、創造界隈拠点においてアーティスト・クリエイターの制作・発表・滞在(居住)を支援することを明記しました。</p> <p>ご意見の趣旨につきましては、今後の施策・事業等を進める上での参考とさせていただきます。</p>
鑑賞・体験機会の充実	
<p>観劇やコンサートとなると都内に出かけることがほとんどです。横浜は文化芸術に力を入れている印象はありますが、イベントの多いように思います。日常的に、芝居や音楽コンサートが行える施設に限りがあるとは思いますが、そういった日常的な場面が何らかの形でもっと増えていけばよいのではないかと考えています。</p>	<p>ご提案の趣旨につきましては、今後の施策・事業等を進める上で参考とさせていただきます。</p>
事業の拡充	
<p>芸術フェスティバルの開催は結構なことだが、毎年毎年準備が大変だと思う。もっと間隔を空けてお金と時間をかけて臨んでほしい。もし、毎年とするなら、神奈川県芸術フェスティバルと共同で行うなど市、県で個別にやるのではなく共催でやるなどして双方に有益なフェスティバルとしてほしい。</p>	<p>ご提案の趣旨につきましては、今後の施策・事業等を進める上で参考とさせていただきます。</p>
世界水準の催し	
<p>みなとみらいホールで世界水準の公演を期待しています。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、この「考え方」に対する期待と受け止め、基本方針4に基づく施策を推進してまいります。</p>
内容・視点の整理	
<p>経済政策や成長戦略においては、「賑わいづくり等に寄与することを目的とした文化芸術を発信する」という考え方は大変意義があるものとする。</p> <p>一方で本素案の趣旨を考えれば「芸術文化」と「経済政策」との関係性を考慮した上で、芸術文化関係施策として必要な考え方を示すべきではないか。(結果として「賑わいづくりや観光MICE」に寄与する、などがふさわしい)</p>	<p>ご意見の趣旨を踏まえ、基本方針4のタイトルへ反映させるなど、文化芸術創造都市施策の展開により「賑わいづくり・観光MICE振興」にもつながるとする、本市の考え方を示しました。</p>
文言の整理	
<p>「国内外から注目を集める展覧会、公演の実施」は、専門分化施設への言及としては機能の一部ではないのではないかと。</p> <p>「ポテンシャルを高め」という点についてはいつまでも「ポテンシャル」という表現でよいのか疑問。芸術文化振興、創造都市、観光MICEの観点から具体的な位置づけが必要ではないか。</p>	<p>ご指摘のとおり、展覧会、公演の実施は専門文化施設の機能の一部として考えています。</p> <p>ご提案の趣旨につきましては、今後の専門文化施設の事業展開を進める上での参考とさせていただきます。</p>
提案	
<p>音楽の楽しみを知ることは、人生をより豊かにすることだと思います。そこで、音楽都市として横浜市をアピールしてはどうでしょうか？横浜は日本のジャズ発祥の土地として知られています。横浜発祥の楽団を創設して、市内を中心に演奏活動をするのはいかがでしょうか？また、世界の音楽家の登竜門とする国際的な音楽コンクールを企画・開催するのはどうでしょうか？</p> <p>横浜市内の小・中学校のサークル活動に音楽学部を必ず常設して、そこから育った学生に横浜の楽団が催す演奏会で演奏する機会を与えたり、市内の音楽学部出身の学生を横浜発祥の楽団に優先的に演奏メンバーとして採用するなどの仕組みを作ったらよいと思います。</p>	<p>ご提案の趣旨につきましては、今後の施策・事業等を進める上で参考とさせていただきます。</p>
その他	
<p>賑わいについては、様々なイベント等で賑わう場所と、静かに落ち着いた過ごせる場所を分けて考えてもらいたい。</p>	<p>ご提案の趣旨につきましては、今後の施策・事業等を進める上で参考とさせていただきます。</p>

その他のご意見

地域人材活用・人材育成

「創造都市」を標榜する都市が全国でたくさん名乗り出ています。横浜市はそのトップランナーとして動いてきたと思いますが、今、創造農村の考え方や地方の都市では、その地域の特性を活かして「人材の育成」「地域の魅力づくり」を急ピッチに進めています。もっと視野を広くして、行政内部の人材育成もした方が良いのではと感じます。

ご提案の趣旨につきましては、今後の施策・事業等を進める上で参考とさせていただきます。

かつて植民地の奴隷が作った紅茶を優雅に飲みながら文化を楽しむ語っていた時代があった。今の横浜がそうならないことを切に願う。次世代の育成においても、優雅な新進アーティストになるよりも人々を思いやり弱者を救う人間として優秀な人を育てて欲しい。文化芸術はある種の麻薬である。瞬間的に癒されたとしても根本的な解決にはならない。

ご提案の趣旨につきましては、今後の施策・事業等を進める上で参考とさせていただきます。

内容・視点の整理

「横浜市文化芸術・創造都市施策の基本的な考え方(素案)」とありますが、これを「創造都市横浜における文化・芸術施策の基本的な考え方(素案)」とする方が好ましいのでは!! 創造都市(横浜)は文化・芸術の上位概念に位置付けられるのでは?! (横浜市の先の長期構想ではどうか) 文化・芸術は創造都市横浜を構築する上での一つ(重点ではあるが)であり、横浜市文化芸術・創造都市施策と表現するのは適切ではないと考えます。

この「考え方」は、横浜市基本構想で掲げる目指すべき都市像の実現に向け、文化芸術創造都市の考え方をまとめるものとして位置づけを明記しました。また、創造都市施策については、当初基本方針3の取組限定ととれる標記となっていたため、この「考え方」全般にわたるものとして、「文化芸術創造都市施策」と中黒を取って標記することとしました。

提案

神奈川フィルハーモニーや東京藝術大学に関する記載が無いが、横浜の貴重な文化資源としての考え方や位置づけ等を示すべきではないか。

十六夜スタジオのような心意気のある試みに賛成。市としてもっと応援してあげてほしい。

みどり税のように、目的をもって税金を集めてもよいのではないか。それに見合った施策が提示され一部でも実感できれば良いと思う。

市内にFree wi-fi スポットを増やしてみたいはかがでしょうか? Free wi-fi があれば、観光客、特に海外の人には道に迷った際に地図を調べることができ、大変便利です。大きなカルチャースペースを横浜駅にも作ってみてはいかがでしょうか? これは、普段から市民が利用するのはもちろんのこと、横浜から旅立つ旅行者の、出発までの時間つぶしに使えます。

ご提案の趣旨につきましては、今後の施策・事業等を進める上で参考とさせていただきます。

文言の整理

文言、用法の修正について

ご指摘を踏まえ修正しました。

その他

2件

—